

COCNフォーラム2024

ご参加のみなさま

ストックマークのご紹介

- 価値創造の仕組みを再発明し、人類を前進させる -

Stockmark 





会社概要

哲学からAI、そしてLLMへ

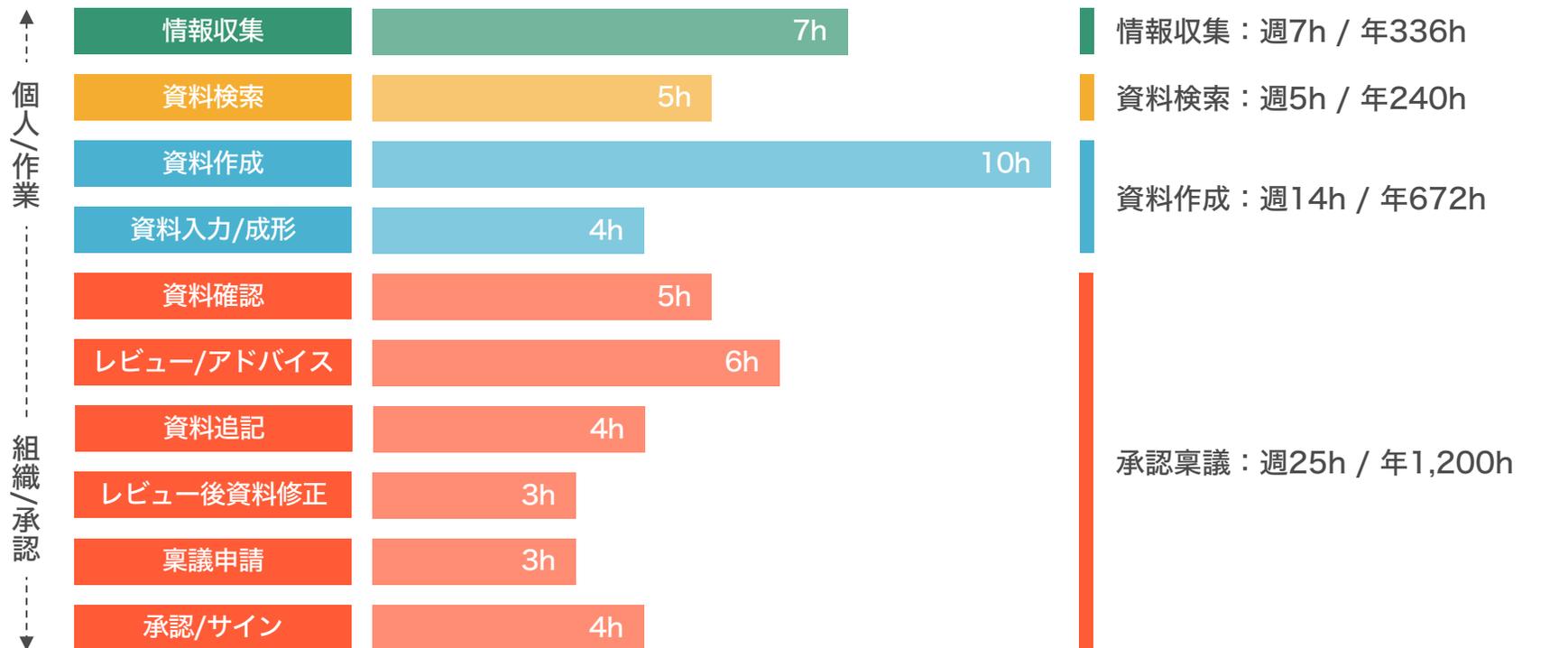
- 東京大学文学部宗教学科卒
- 学生起業を経て、伊藤忠商事に入社
事業投資や経営管理業務に従事
- 2016年にストックマークを創業
社員数110名/累計資金調達額約50億円
- ビジネス版Google「Anews」は
大手製造業を中心に300社以上が導入
- 経産省の国産生成AI開発支援に採択され、
国産最大の1,000億LLMをリリース

ストックマーク株式会社

代表取締役CEO 林 達 (Tatsu Hayashi)



ホワイトカラーのテキストワークからの解放、価値創造へシフト



ホワイトカラーの
テキストワークコストは

製造業大手WC従業員数
895社 / 181万人

製造業大手コスト合計

13.3兆円

出典 : Bridging the information Worker Productivity Gap in Western Europe: New Challenges and Opportunities for IT, IDC

※企業数及び従業員数は経済センサス（平成28年）のデータを基に試算し、時給3,000円と仮定した場合



ストックマークの事業概要

データ基盤
7年蓄積したビジネスデータ

生成AI基盤
国内最大級の独自LLM

顧客基盤
大手製造業300社が利用

AI SaaS

汎用ツールとしてすぐに使える

AI PaaS

ニーズに合わせて柔軟にカスタマイズ



A news



情報収集
市場分析

社内情報検索
エンタープライズサーチ

Know-Who
組織開発

SAT

Stockmark A Technology



社内データ構造化
RAG

企業特化LLM
開発支援

個別システム
開発支援



製造業を中心に国内大手エンタープライズ企業でご愛用

300社超が導入

日経225の3割が導入

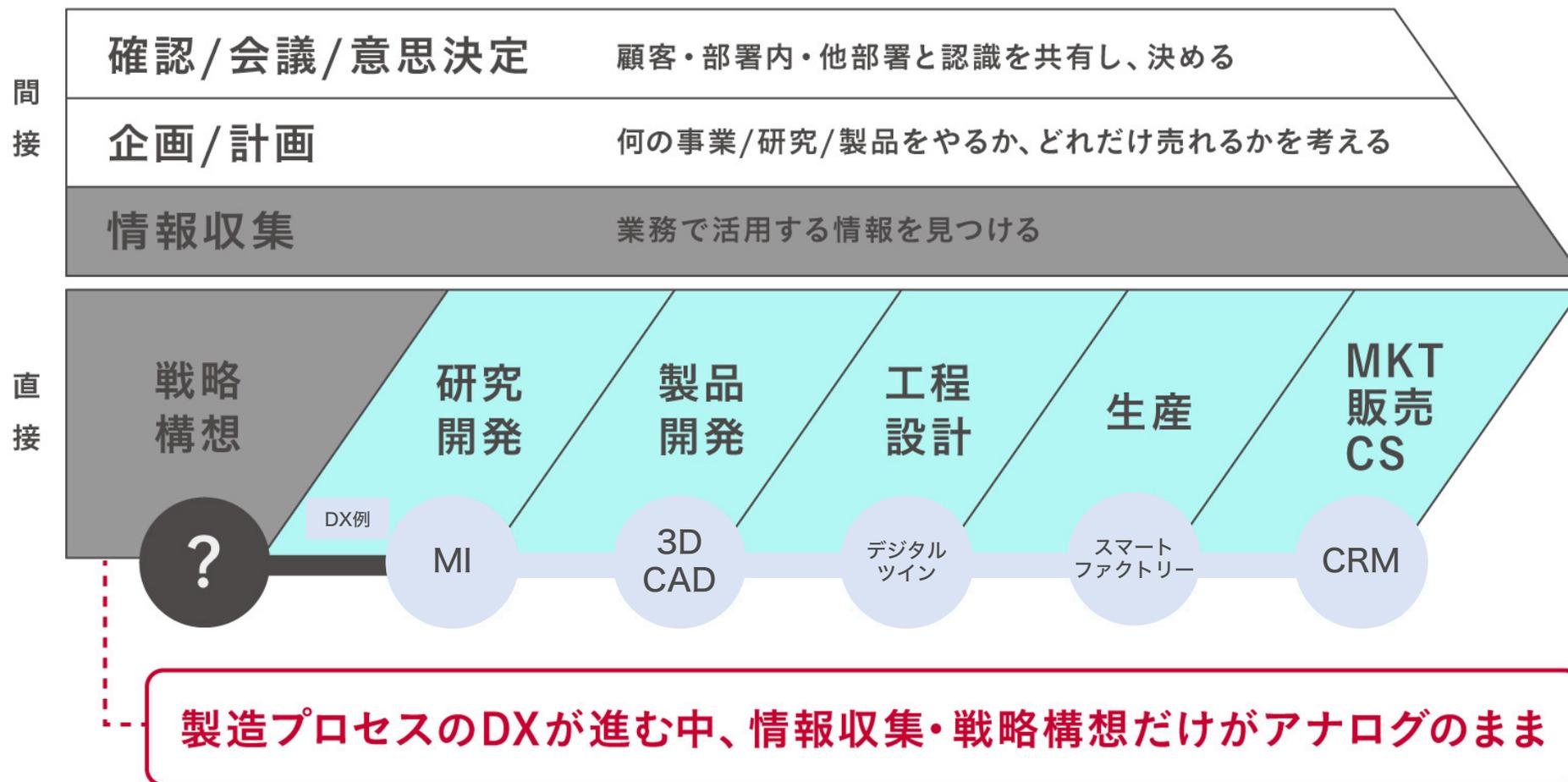
業種は製造業が7割





生成AI時代の新たな業務基幹システムを作る

DXではリアルタイム（速さ）・オートメーション（自動）・シェア（共有）が常識



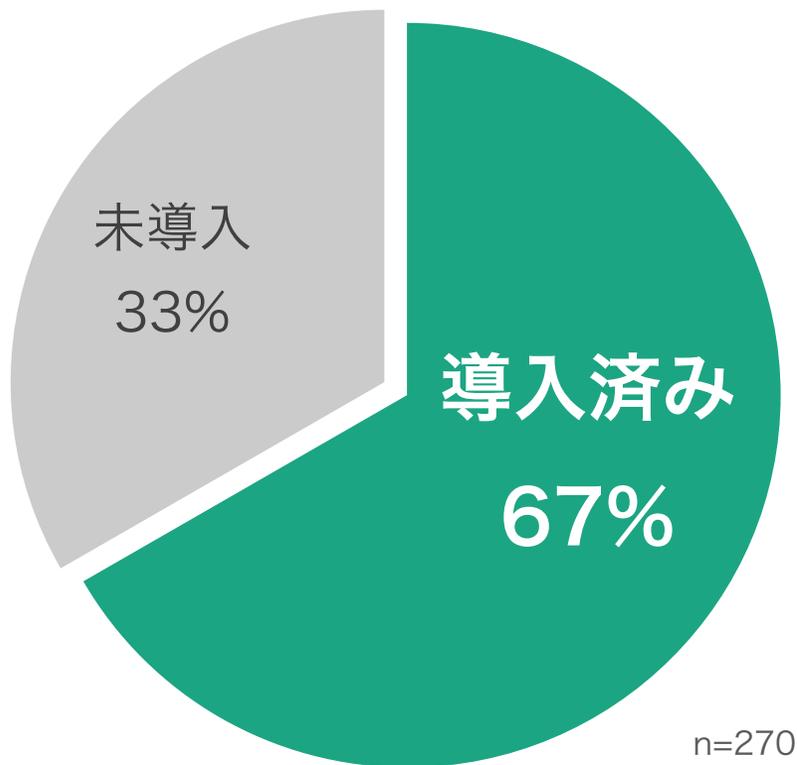


Stockmark-LLM



回答者の約7割で生成AIツールが「導入済み」

Q1. 自社におけるChatGPTをはじめとした生成AIサービスのご導入状況について教えてください



※ 「わからない・回答できない」と回答した69件を除く

生成AIサービスの導入状況を聞いたところ、有効回答270件のうち180名が「導入済み」と回答しており、**全体の約67%**が既に何かしらの生成AIサービスを**導入済み**であることがわかりました。

半年程前の2023年10月13日～10月16日頃に行われた、PwCコンサルティング合同会社の調査「生成AIに関する実態調査2023秋 ※1」では、回答企業の18%のみが生成AI導入済み、加えて25%が「2024年3月まで」の導入想定であり、それらの結果と比較すると、今回の導入済み67%の数字から、**製造業にて生成AI導入の動きが活発化**していることがわかります。

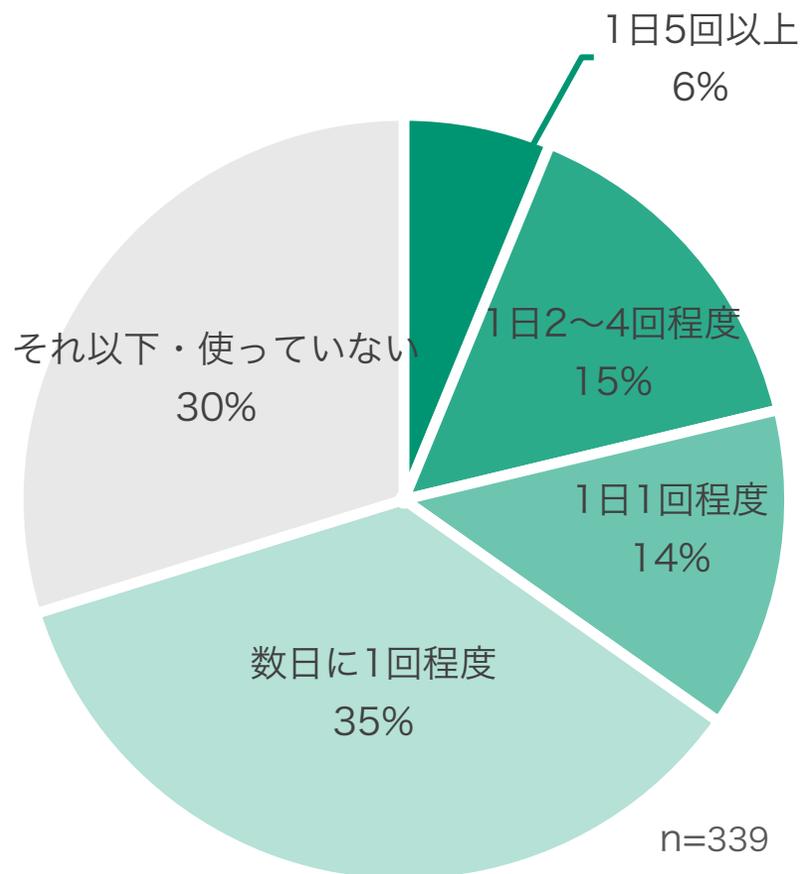
※1= 「生成AIに関する実態調査2023 秋 ー生成AIは次のフェーズへ：勝つための人材育成／確保と導入効果の追求が最重要課題ー/PwCコンサルティング合同会社

https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/generative-ai-survey2023_autumn.html



利用者の大多数は数日に一回程度しか生成AIを利用していない

Q5. ご自身の生成AIツールのご利用頻度を教えてください



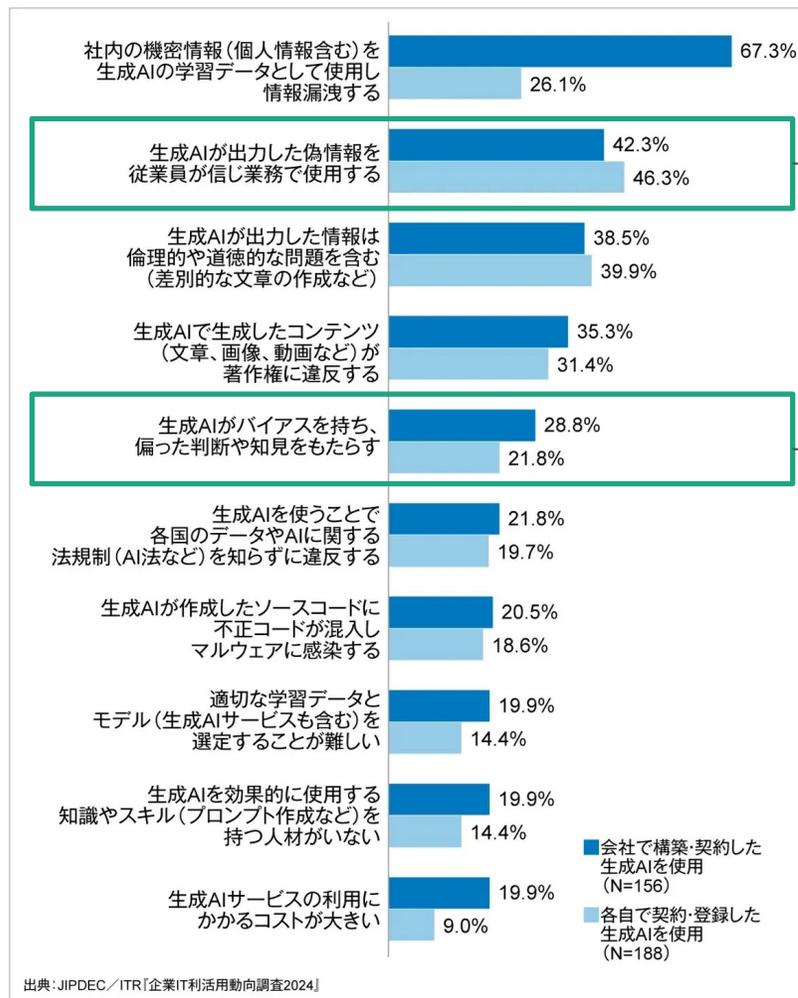
「文書の作成」「要約の生成」「業務上の調べ物」など、生成AIの技術は業務上で多数の用途先が想定されます。

そんな中、生成AIツールの利用頻度については、「**数日に1回程度**」が一番多く、各社で生成AIツールの導入が進んでいる割には、**高頻度に利用できているユーザーが少ない**結果となりました。

今後さらにAIを業務で活用できる状態にし、活用を浸透させるにはもう少し時間と工夫が必要なようです。



利活用が進まない大きな要因は「ハルシネーション」



汎用LLMはすでに人間よりも多くのことを実現できるが、
 ビジネス利用では、ハルシネーション(もっともらしい嘘)が抑止された信頼性 / 厳密性の高いLLMが求められている

出所: 生成AI使用企業は35%、情報漏洩やハルシネーションなど懸念か——ITR・JIPDEC調査
<https://enterprisezine.jp/news/detail/19395>



経産省プログラムに採択：世界で注目される当社の国産LLM



生成AIの「嘘」を抑制 スtockマークが基盤技術開発

生成AI [+ フォローする](#)

2024年5月15日 17:00 [会員限定記事]

保存



1兆トークン学習
独自ビジネスデータ

国産最大フルスクラッチ
1,000億パラメータ

ビジネスに特化
ハルシネーション抑制



パナソニックHD様とPanasonic-LLM-100bを共同開発



技術・研究開発 / プレスリリース

2024年7月2日

パナソニックホールディングス株式会社
ストックマーク株式会社

パナソニックHDとストックマーク、国内最大規模（1,000億パラメータ）の独自日本語LLM「Panasonic-LLM-100b」開発で協業

#AI技術 #テクノロジー

パナソニックホールディングス株式会社（以下：パナソニックHD）とストックマーク株式会社（以下：ストックマーク）は、パナソニックグループ専用大規模言語モデル（Large Language Model、以下：LLM）「Panasonic-LLM-100b」の開発で協業することを発表します。協業を通じて、ストックマークが独自に開発したLLM「Stockmark-LLM-100b」に、パナソニックグループの社内データを追加事前学習させた「Panasonic-LLM-100b」を構築していきます。今回開発するLLMのモデルサイズは1,000億パラメータを想定しており、企業が開発する自社専用のLLMとしては国内最大規模⁽¹⁾となる見込みです。

◆取り組み概要

本取り組みでは、ビジネス領域における国内最大規模の知識を学習させ、ハルシネーション⁽²⁾を大幅に抑止したストックマークの独自LLM「Stockmark-LLM-100b」に対し、パナソニックグループが保有する社内情報を追加事前学習させることで、パナソニックグループ専用の日本語LLM「Panasonic-LLM-100b」を構築します。一般的に国内各社が取り組む自社LLMは、70～130億パラメータの小型モデルを採用することが多くありますが、今回の取り組みでは、パナソニックグループの膨大な社内データを学習させた国内最大級の1,000億パラメータ規模のLLM開発を行い、パナソニックHDで開発中のマルチモーダル基盤モデルへの統合を目指します。また、セキュリティ面に配慮し、企業の秘匿データを安全性高く学習する仕組み

Stockmark-LLM-100B
をベースに開発

開発ノウハウの提供

産業LLM等
より高度な連携へ



貴社のエース社員を超えるアウトプットを実現する



Question : 生成AIを活用して売上を高める施策を立案してください

汎用LLM

ウェブ情報を集めただけの
当たり前のことしか言えない

Answer :

AIを活用して売上を高めるための施策は多岐にわたります。

チャットボット: AIチャットボットを導入して24時間顧客対応を行い、顧客満足度を向上させる。また、質問応答を通じて顧客の関心を理解し、それに基づいた商品やサービスを提案する。

製品開発: AIを使用して市場調査を行い、人気のある製品トレンドを把握する。これにより新しい製品開発を促進し、市場のニーズに対応する。

これらはすべて、AIの力を利用して売上を増加させるための可能性を持つアイデアです。必要に応じて、これらの提案を調整または組み合わせることで、特定のビジネスニーズに対応する最適な戦略を作成することができます。

貴社 LLM

自社の過去から現在までを理解し
仮説を出せる

Answer :

赤字 : 自社業務知識 青字 : 自社状況に基づく仮説

当社の顧客であるA社は自動車業界に属しており、同規模のC社は同様のニーズを持っている可能性が高いです。

ただし、当社の競合であるE社がC社に対してXXXのニーズを叶えるサービスを提供しており、別切り口での提案が必要です。

C社のXXXというニーズに対して、生成AIを活用したサービスでは海外でXXXのような事例があります。

過去当社内で検討されていたXXXという商品のXXX技術は潜在的にC社のXXXというニーズに応えられる可能性があります。

よって、生成AIとXXX技術を組み合わせることで、C社が新たなクライアントとなる可能性があり、結果として当社の売上を高めることができます。



ハルシネーション抑止：高度な質問にも豊富な知識で対応可能

Q：2023年に日本で初めて国産の量子コンピュータの稼働を開始した研究機関を教えてください。

GPT-4-turbo

2023年に日本で初めて国産の量子コンピュータの稼働を開始した研究機関の情報は、私の最終更新時点では提供されていません。最新の情報を得るには直接研究機関やテクノロジー関連のニュースソースを参照してください。

Stockmark-LLM-100b

正解は、理化学研究所です。
理化学研究所は2023年3月に国産1号機の運用を開始しました。



ハルシネーション抑止：高度な質問にも豊富な知識で対応可能

Q：2023年に日本で初めて屋外でのペロブスカイト太陽電池の実証実験を行なった企業を教えてください

GPT-4-turbo

2023年の時点で、日本でペロブスカイト太陽電池が屋外で具体的に利用されている事例の情報は、公には限定的です。

ペロブスカイト太陽電池は、高効率と低コストを兼ね備えているため研究開発が進んでいますが、耐久性や長期的な安定性などの課題を解決中であり、商用化や広範な屋外利用には至っていない可能性が高いです。

Stockmark-LLM-100b

2023年、世界で初めて屋外でのペロブスカイト太陽電池の実証実験を行った企業は、積水化学工業株式会社です。

この実証実験は、東京都と積水化学工業が締結した「フィルム型ペロブスカイト太陽電池を活用した自立型エネルギー供給システムの実証」に関する協定に基づいて行われました。

この実証実験では、フィルム型ペロブスカイト太陽電池を、都庁付近の歩道に設置し、1年以上の安定した発電量や耐久性等を検証しました。



ハルシネーション抑止：時事性の高い話題にも精通

Q：タイパとは？

GPT-4-turbo

タイパは、マカオにある地区の一つです。昔は島でしたが、土地の埋め立てによってマカオ半島と一体化しました。多くのホテル、カジノ、住宅地があり、観光地としても人気です。

Stockmark-LLM-100b

「タイムパフォーマンス」の略で、費やした時間に対する満足度を表す言葉です。かけた時間に対してどのくらいの効果や満足感を得られたかを表す際に使われます。



ハルシネーション抑止：ファクトがない質問には回答しない厳密性

Q：ストックマークが製造しているエポキシ樹脂の用途をまとめてください※

GPT-4-turbo

ストックマーク（Stockmarc）が製造しているエポキシ樹脂は、さまざまな産業や用途で使用されています。一般的な用途としては以下のようなものがあります

1.接着剤: エポキシ樹脂は強力な接着剤として広く使用されています。金属、プラスチック、ガラス、木材など、様々な素材を接着する際に使用されます。
(以下省略)

これらは一般的な用途であり、エポキシ樹脂はさらに多岐にわたる産業や分野で使用されています。

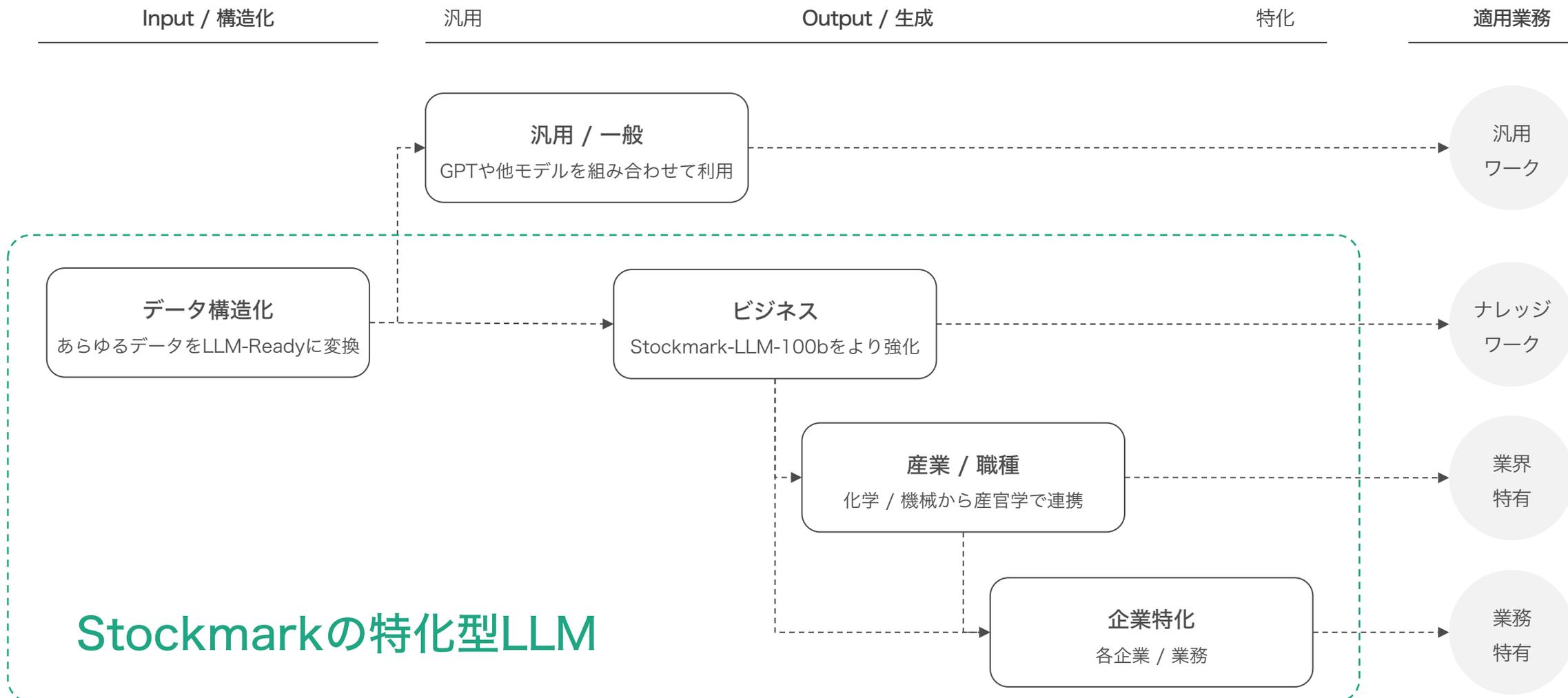
Stockmark-LLM-100b

ストックマークは、エポキシ樹脂の製造をしていないため、用途はありません。

※当社は自然言語処理を活用した、事業機会の探索と意思決定の支援を行うサービスの開発・運営を行う企業であり、エポキシ樹脂の製造は行っていません。



今後の展開：様々なビジネスに合わせて特化型LLMを提供





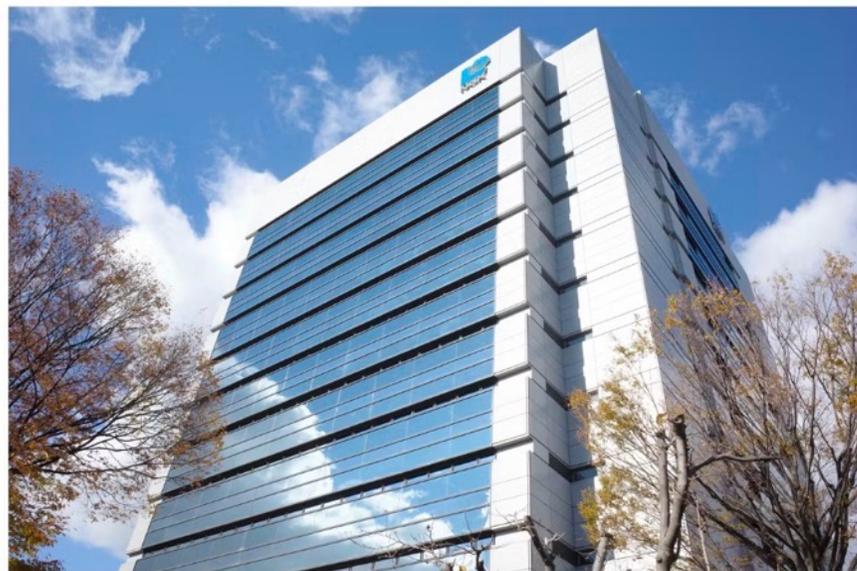
ユースケース



RAGシステムや独自LLM構築に向けた協業が進行中

日本ガイシとストックマーク、新規事業開拓に生成AI

2024/2/8 12:19 | 日本経済新聞 電子版



日本ガイシは製品や技術の用途開拓に生成AIを利用する

日本ガイシと人工知能（AI）開発のストックマーク（東京・港）は8日、生成AIを用いて日本ガイシが持つ技術や製品の新規用途を探る実証実験を始めたと発表した。AIが特許や論文を含む社内外の文書から効率よく情報を抽出し、新たな市場の開拓に向けた使い道などを提案する。

出所：日本経済新聞社（2024/02/08）
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UC072VC0X00C24A2000000/>

その他非公開案件として

- 素材化学メーカー
- 電機メーカー
- 電機メーカー
- 消費財メーカー
- コンサルティング

他多数企業様とのプロジェクトが進行中



ユースケース：研究開発（用途探索）

現場：用途探索システムの構築

企画：技術情報のトピック解析

用途探索

素材・技術の特徴（強み）をもとに、用途を探索してレポートします。

何の用途を調査しますか？

カーボンシート

それはどんな、優れた特徴（強み、競合優位）がありますか？

耐熱性

用途を探索

用途候補を絞り込み中... (1/ページ: 0 / 22)

蓋体

カーボンシートが耐熱性を持つ場合、蓋体に利用することができます。カーボンシートは軽量で強度があり、熱に強いという性質を持ちます。この技術は、自動車や航空機などの輸送機器から、医療機器や産業機械まで、さまざまな分野で応用されています。蓋体の耐熱性は以下のように特許に記載されています。デンカ株式会社の蓋体の特許では、耐熱性および透明性に優れ、短時間で所望の排気用の細孔を穿孔できる蓋体について特許を取得しています (特許番号: 特開2020-50447)。特許: 耐熱 用途: 蓋体 特許: ["特許番号": "patent_number", "publication_number": "特開2020-50444", "application_number": "特開2019-135858"], "出願者": "デンカ株式会社", "課題文": "耐熱性および透明性に優れ、短時間で所望の排気用の細孔を穿孔できる蓋体。当該蓋体を備える包装容器および当該蓋体の製造方法を提供する。"] 特許1: ["特許番号": "patent_number", "publication_number": "特開2020-50447"]

Anewsで調べる Astrategyで調べる (市場構造) Astrategyで調べる (事例集)

樹脂成形体

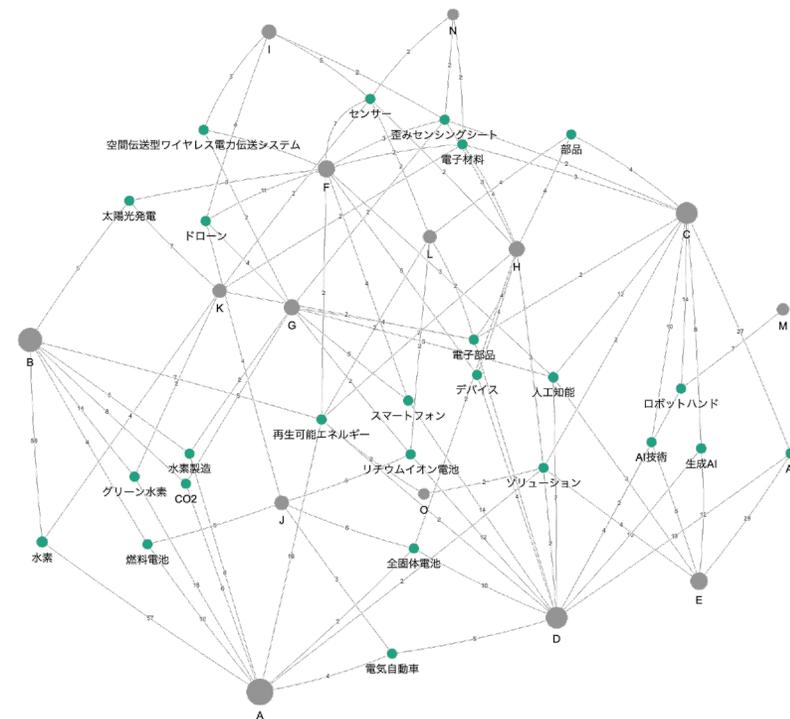
カーボンシートが耐熱性を持つ場合、樹脂成形体に利用することができます。カーボンシートを加熱し、樹脂と組み合わせることで、樹脂成形体を製造することができます。樹脂成形体の高耐熱性については以下のような特許で述べられています。三菱ケミカル株式会社の耐熱性に優れた樹脂成形体についての特許があります (特許番号: JP2019-131556)。他にも住友電気工業株式会社の耐熱性に優れた樹脂材料についての特許があります (特許番号: JP2019-44082)。

Anewsで調べる Astrategyで調べる (市場構造) Astrategyで調べる (事例集)

部材

カーボンシートが耐熱性を持つ場合、耐熱性が重要な部材に応用できる可能性があります。カーボンシートを車のエンジン周りやマフラーなどに利用することで、熱による劣化を防ぐことができます。部材の高耐熱性については以下のような特許で述べられています。三井化学株式会社は耐熱性および耐熱性と導電性が高く、製造が容易であり、重量の増大を抑制できるシール部材の製造方法と、部材の接合方法について特許を取得しています (特許番号: 特開2019-44057、特開2019-43021、特開2019-43022)。

Anewsで調べる Astrategyで調べる (市場構造) Astrategyで調べる (事例集)



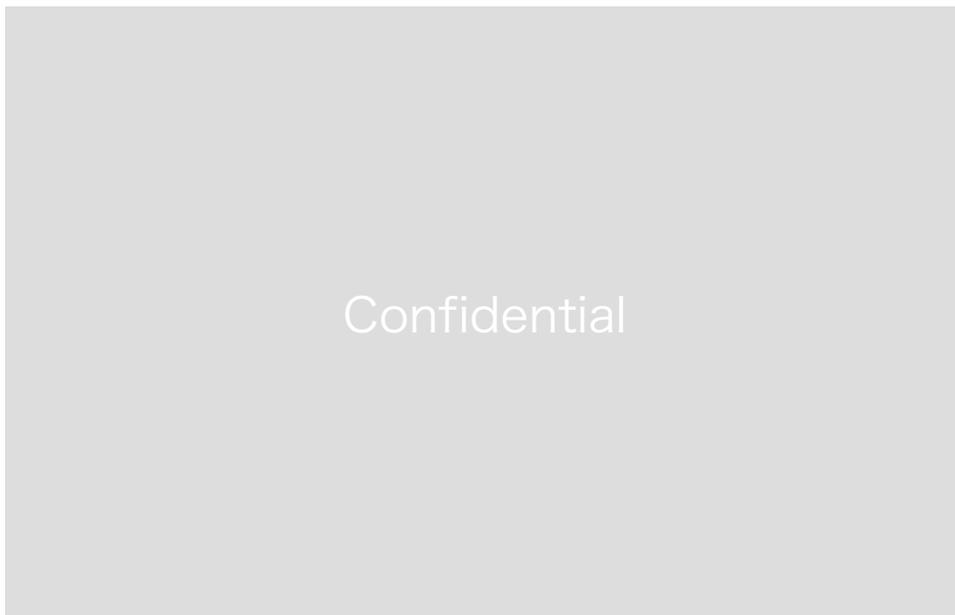
ナレッジグラフによって、素材名や技術的な強みから用途展開先を自動的に抽出（貴社データを取り込むことで更に精度が向上）

市場 / 技術 / 社内情報をMFT等で解析し、自社の強みや弱みを持つ領域を可視化する（さらに社内での利用データから現場の興味動向も把握可能）



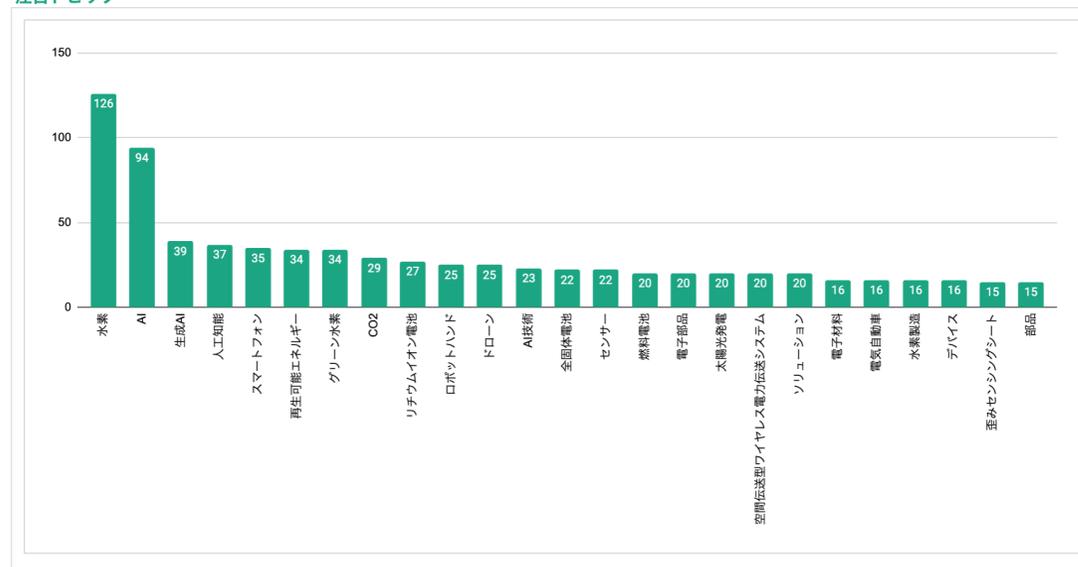
ユースケース：製造 / 設計（技術伝承）

現場：引き継ぎ支援システムの構築



企画：製造におけるリスク情報の解析

注目トピック



ゆらぎの多い工程や機械名、商材名等をナレッジベース化することで精度の高い検索を実現、また工程情報を適切に要約し、作業効率を高める

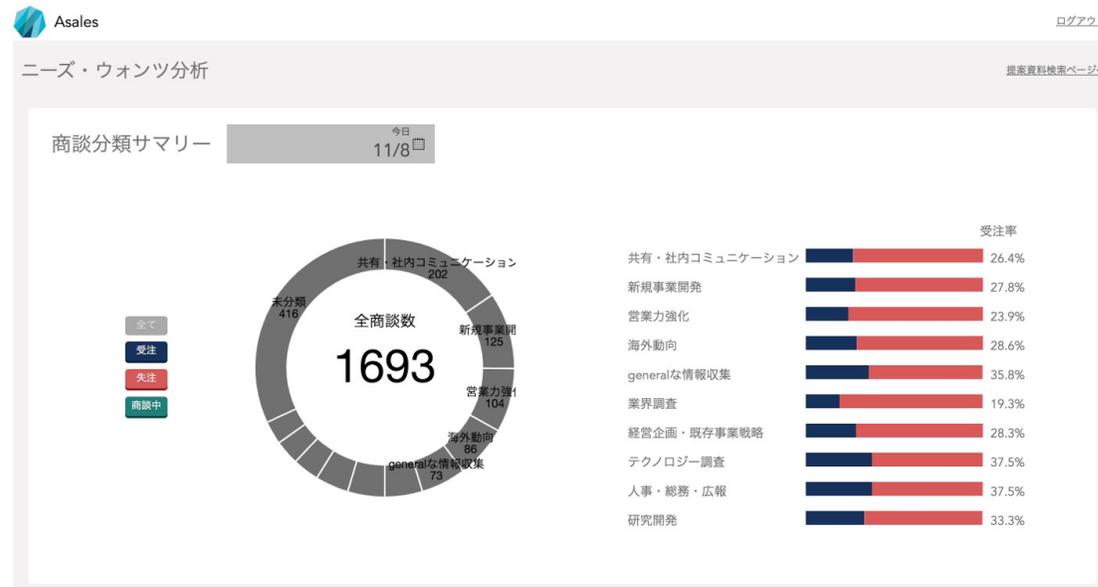
フォーマット化されていない引き継ぎや日報、報告データを構造化し、一定期間内での不具合、故障等のリスクの傾向を把握する



ユースケース：営業 / 事業（提案力向上）

現場：商談ストーリーの自動生成

企画：商談情報や顧客ニーズの解析



取引先や商材に関するニュースや過去の類似商談及び提案書を構造化し、商談ストーリーを自動生成することで営業の情報武装をサポート

どのようなニーズに売れているのか、売れていないかを可視化し、顧客に寄り添った営業活動ができているかが一目瞭然となる



Stockmark A Technology



初期ヒアリング結果の全体概要

全体的な印象として、まだ探索期でありLLMを活用するユースケースが事業会社側で特定されていない状態

探索期であるために、LLMに対しての個別性の高い要望はまだ少なく、ほとんどAzure OpenAI一択になっている

セキュリティハードルが当初懸念から思われたが、現時点ではクラウド回避の動きは少ない（今後要検証）

まずは社内データのRAG（引用付き生成検索）に取り組んでいるケースが大半

RAGを実施する際に、LLM処理の前に、非構造化データからのテキスト抽出と構造化に課題が大きい

現場からは多くのニーズが上がってくるが、IT及びAIチームにおいて、検証を進められる人材が不足している

経営や社会的なプレッシャーも含めて、LLM活用に対する取り組みのスピード感が求められている



データの質の向上のヒント：図表を含むファイルのデータ化

図表データ、社内にありますか？

ビジネスドキュメント
・ 報告書、製品仕様書、論文など

ナレッジグラフによる丁寧な業務知識の整理・関係付け

Case 1 素材/化学業界における用途開発の企画作成

フィルタ×高耐圧性の用途アイデア：内視鏡

項目	例
Company(企業)	Apple, Microsoft, Meta, ストックマーク
Industry(業界)	行政・公益・教育・電気製品・精密機械
Solution(解決手段)	アナログエンジニアリング、数値化、生産プロセス、電気自動車...
Product(製品)	ChatGPT, iPhone, NVIDIA...
Issue(課題/イベント)	製造業、SDGs、気候化...
Case(ケース)	新規、開発、投資、未来、教育...

さらに関係性、構成要素のナレッジグラフの適宜整備中

RAG (Retrieval Augment Generation) で最新情報を取得するだけで補えない構造的な知識とビジネスコミュニケーションを理解し高速回答可能なLLMがあるからこそ可能

© 2024 Stockmark Inc. 48

シングルカラムと、マルチカラムの混在

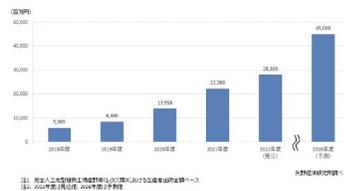
第1章 脱炭素社会への移行に向けた世界の動向

国/地域	主要動向	社会課題	排出削減の方法	政策/目標/トピック
EU	2000年にEU気候目標を達成し、2023年以降はCO2排出削減が目標とされている	気候変動による気候変動対策の必要性が認識され、EUは2050年までにCO2排出をゼロにする目標を掲げている	再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の向上、産業プロセスの脱炭素化	EUは2030年までに温室効果ガス排出量を1990年比で55%削減する目標を掲げ、2050年までに気候変動をゼロにする目標を掲げている
韓国	2015年パリ協定を批准し、2050年までに温室効果ガス排出量を1990年比で55%削減する目標を掲げている	気候変動による気候変動対策の必要性が認識され、韓国は2050年までにCO2排出をゼロにする目標を掲げている	再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の向上、産業プロセスの脱炭素化	韓国は2030年までに温室効果ガス排出量を2019年比で52%削減する目標を掲げ、2050年までに気候変動をゼロにする目標を掲げている
中国	2013年から気候変動対策を推進し、2020年までに温室効果ガス排出量を1990年比で55%削減する目標を掲げている	気候変動による気候変動対策の必要性が認識され、中国は2050年までにCO2排出をゼロにする目標を掲げている	再生可能エネルギーの導入、エネルギー効率の向上、産業プロセスの脱炭素化	中国は2030年までに温室効果ガス排出量を2005年比で65%削減する目標を掲げ、2050年までに気候変動をゼロにする目標を掲げている

図と表、文書が混在...

植物工場への適用背景

植物工場産の野菜の出荷については、伸びていくことが予想されている



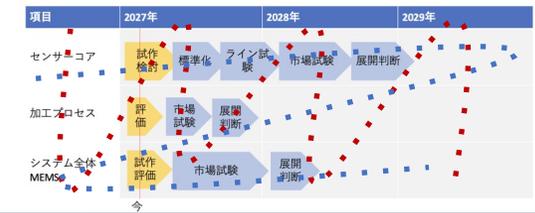
植物工場の規模が拡大し出荷数が増えることが見込まれるが、同時に野菜を高品質に出荷できるかの管理の課題が増加すると考えられる

そこの課題解決に当社センサーが活用できる可能性がある

グラフと説明文

文脈に応じた読み解きの順番

開発検討のスケジュール



【図131-1】排出量取引制度導入の動向

【図131-1-1】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-2】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-3】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-4】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-5】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-6】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-7】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-8】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-9】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-10】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-11】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-12】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-13】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-14】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-15】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-16】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-17】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-18】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-19】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-20】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-21】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-22】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-23】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-24】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-25】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-26】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-27】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-28】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-29】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-30】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-31】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-32】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-33】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-34】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-35】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-36】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-37】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-38】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-39】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-40】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-41】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-42】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-43】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-44】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-45】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-46】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-47】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-48】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-49】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-50】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-51】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-52】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-53】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-54】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-55】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-56】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-57】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-58】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-59】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-60】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-61】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-62】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-63】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-64】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-65】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-66】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-67】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-68】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-69】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-70】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-71】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-72】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-73】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-74】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-75】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-76】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-77】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-78】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-79】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-80】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-81】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-82】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-83】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-84】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-85】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-86】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-87】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-88】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-89】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-90】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-91】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-92】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-93】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-94】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-95】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-96】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-97】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-98】カーボンプライシング収入の推移

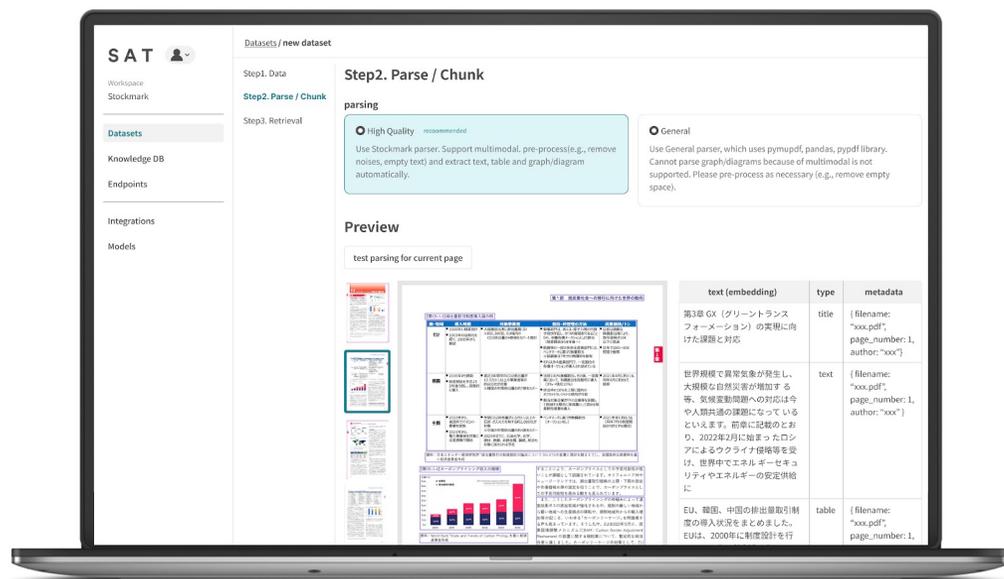
【図131-1-99】カーボンプライシング収入の推移

【図131-1-100】カーボンプライシング収入の推移

出典元：経済産業省 資源エネルギー庁
令和4年度 エネルギーに関する年次報告
(エネルギー白書2023)
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2023/pdf/>



RAG-ready / LLM-ready なデータ構造化プラットフォーム



SAT : Stockmark A Technology

データセットから
ナレッジベースを自動構築

ナレッジベース
QAデータ蓄積

LLMを事前学習
継続学習し利用可能

図表を含む様々な
ファイル形式

テキスト
抽出・構造化

改善サイクル

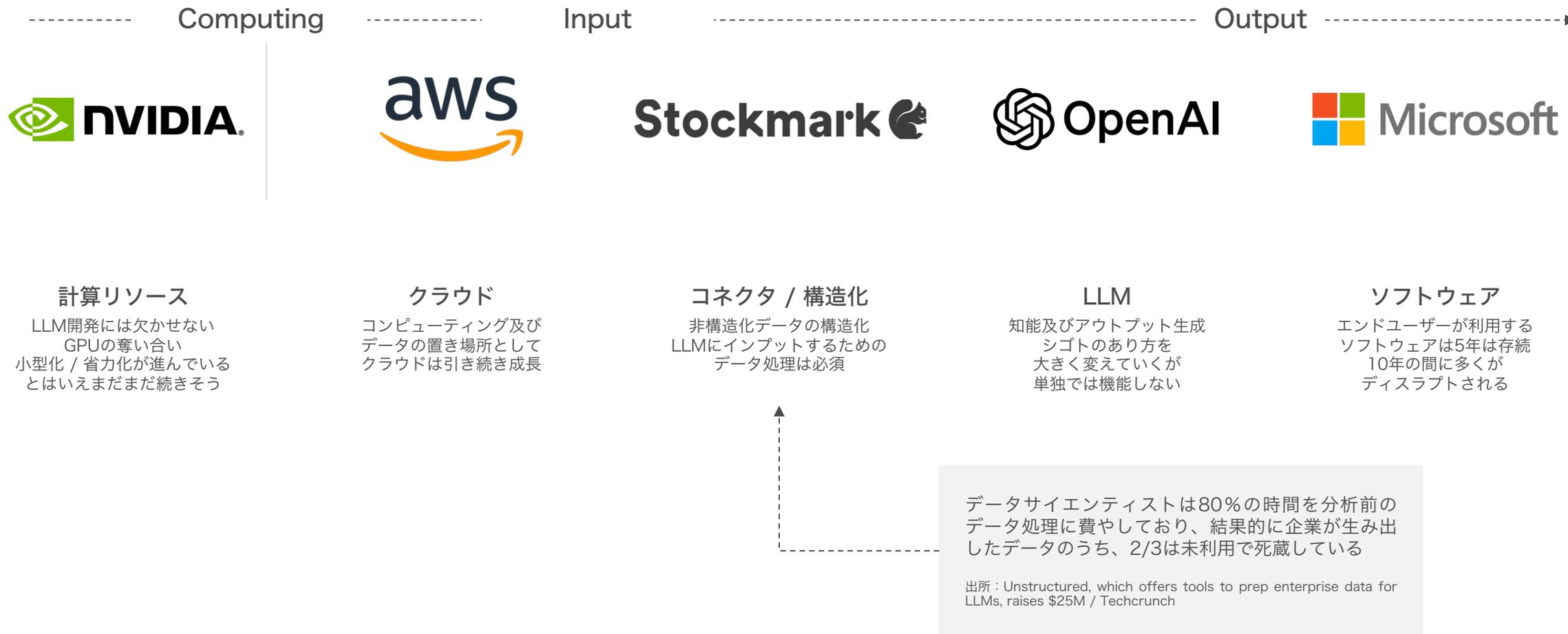
LLM学習

エンドポイント
API化

データセット・ナレッジ・LLMを統合し
自社アプリからすぐに利用可能



ビジネスにおける非構造化データをLLM-readyにする

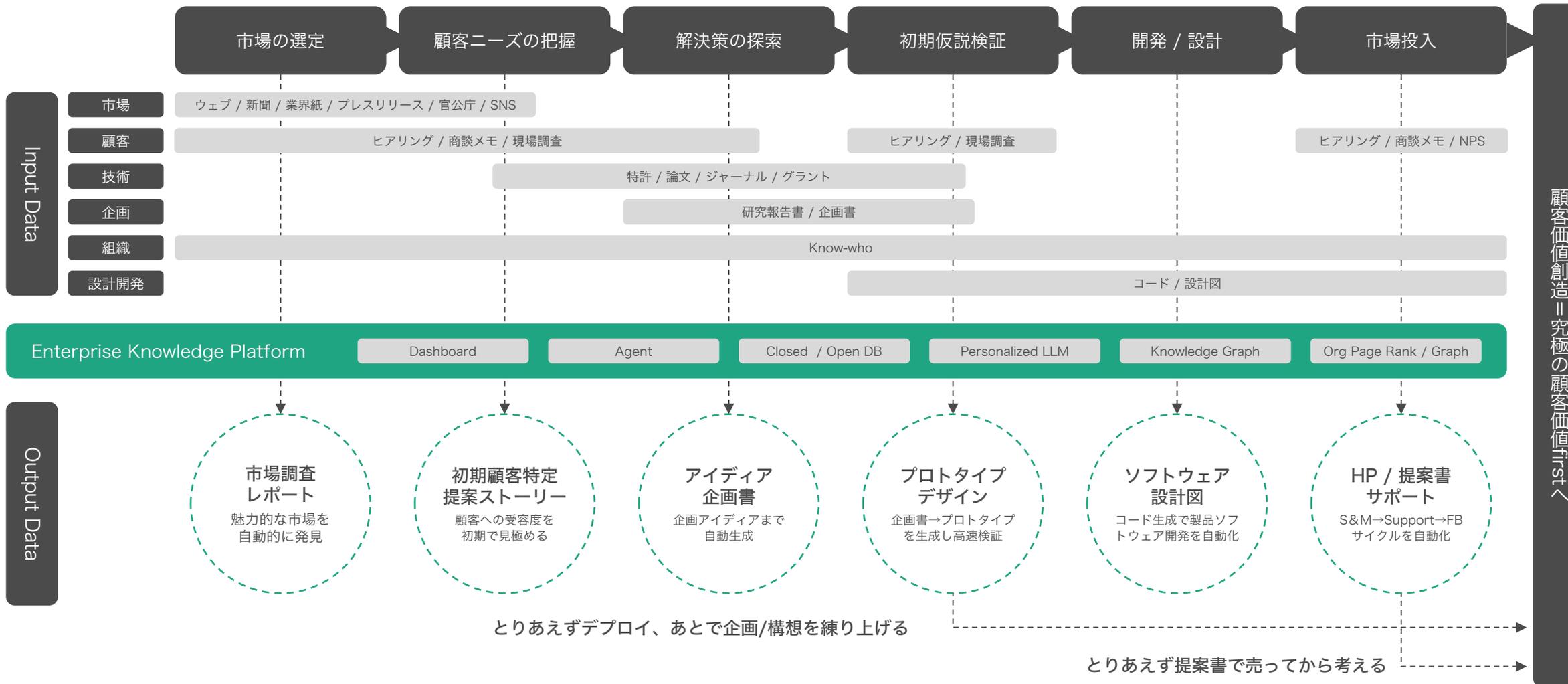




Vision

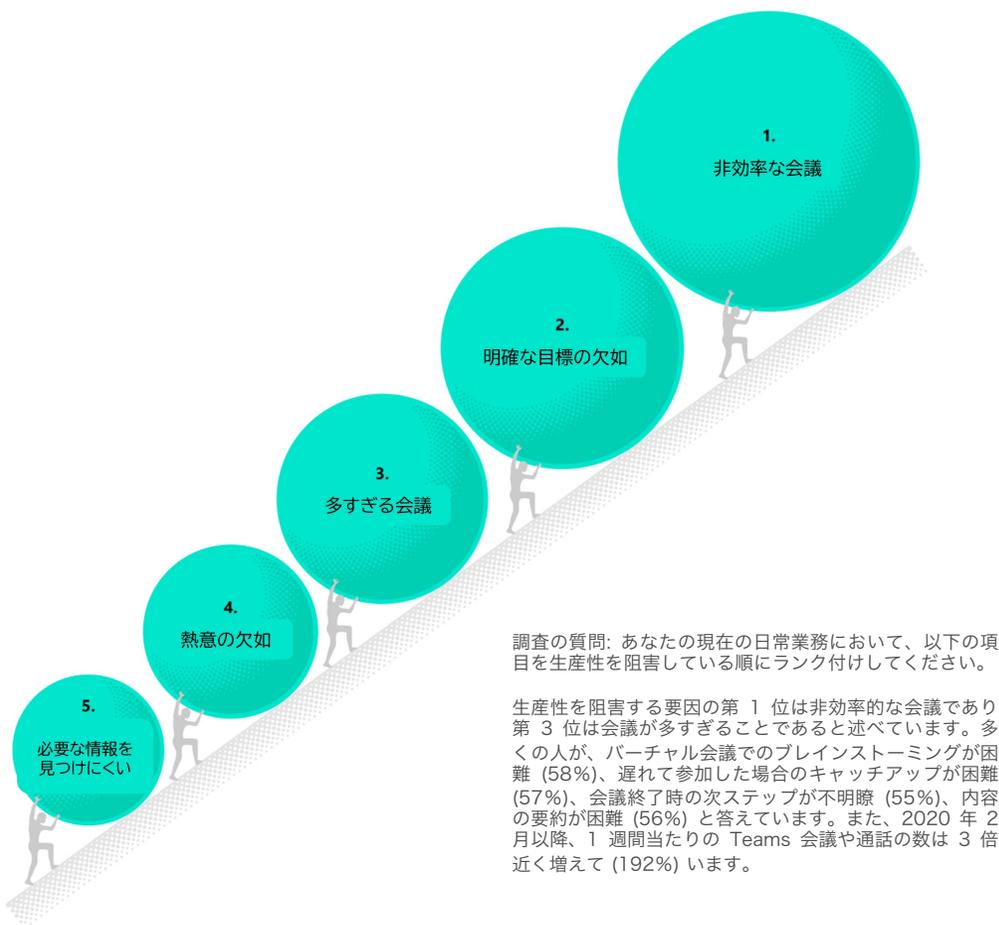


個人：ワンクリックで新規事業をデプロイ（アジャイル変革）

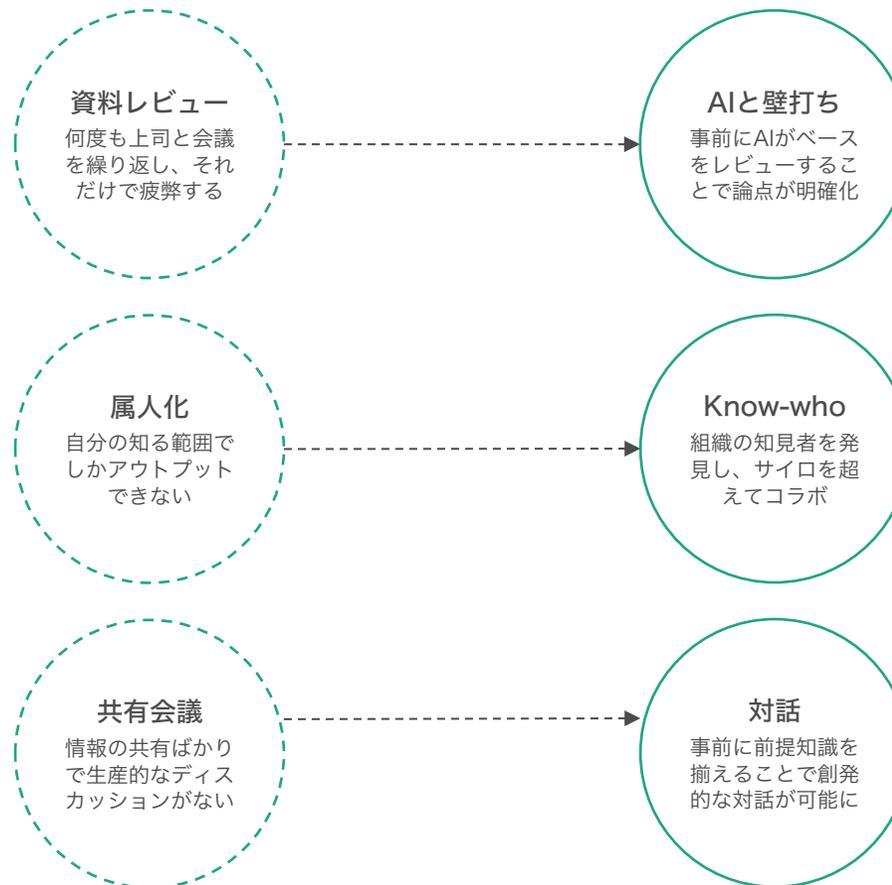




組織：AIがファシリテーターとなり無駄な会議をなくす



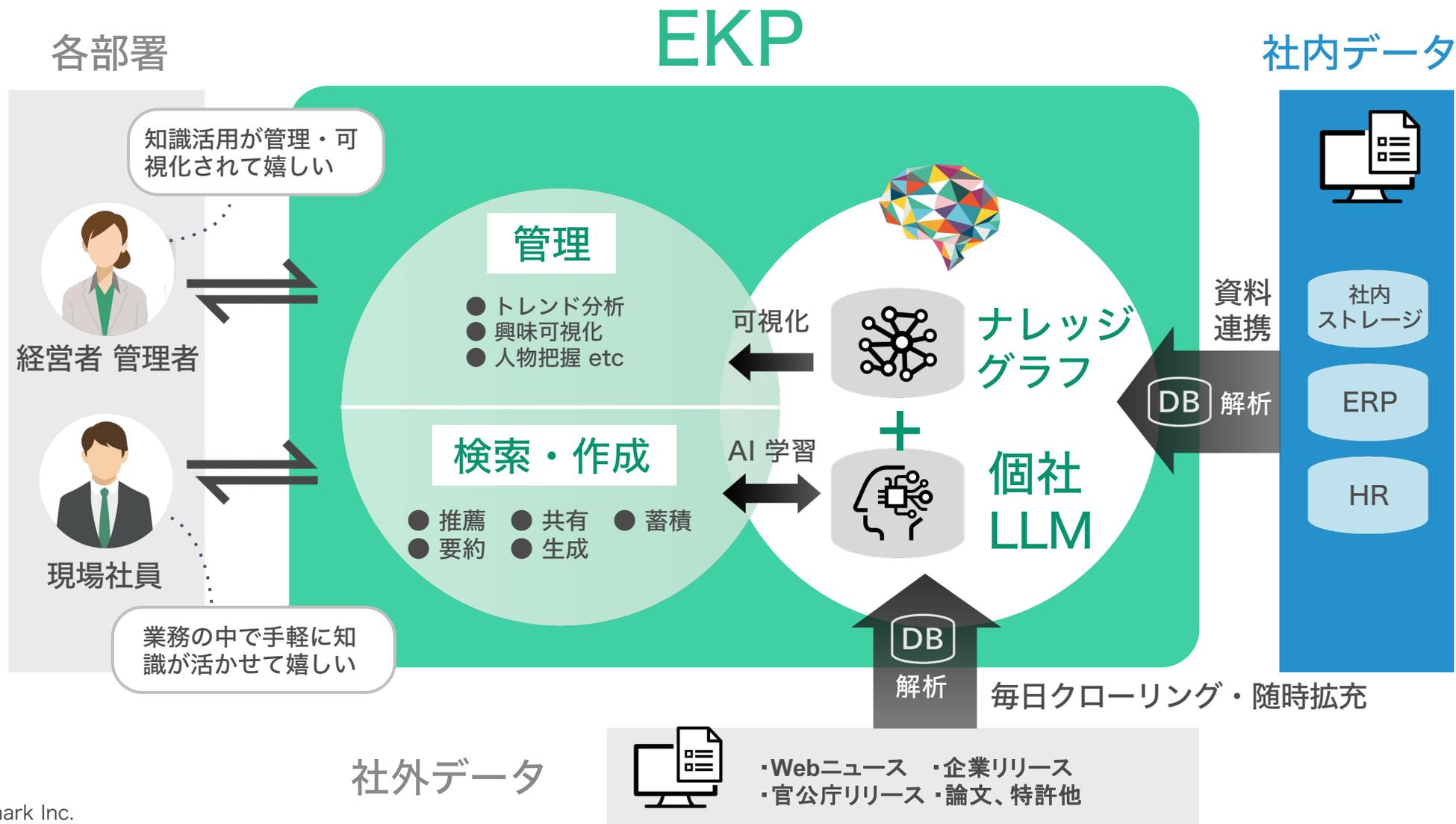
出典：Work Trend Index Annual Report: Will AI Fix Work? (Microsoft 2023/5/9)



Stockmark Agentがパーソナライズされることで、ヒトとヒトのコラボレーションにAIが介在し、なめらかにしていく。現状はストレスの大きなコラボレーションをよりクリエイティビティ溢れるイノベーション創出の場に変える。



経営：あらゆる企業のナレッジプラットフォームを目指す





社会：企業/個人を超えた「新結合」でなめらかな社会を作る

LLM / マーケットプレイス化

BtoB版GPT Storeのようにヒトが稼ぐのではなくLLM/エージェントが稼ぐ時代へシフト

GPTs

指示、追加知識、そして任意のスキルの組み合わせを用いて、ChatGPTのカスタムバージョンを発見し、作成します。

公開されているGPTを検索

Top Picks DALLE Writing Productivity Research & Analysis Programming Education Lifestyle

Featured

Curated top picks from this week



Canva
Effortlessly design anything: presentations, logos, social media posts and more.
By canva.com



CK-12 Flexi
The world's most powerful math and science AI Tutor for middle and high school students.
By flexi.org



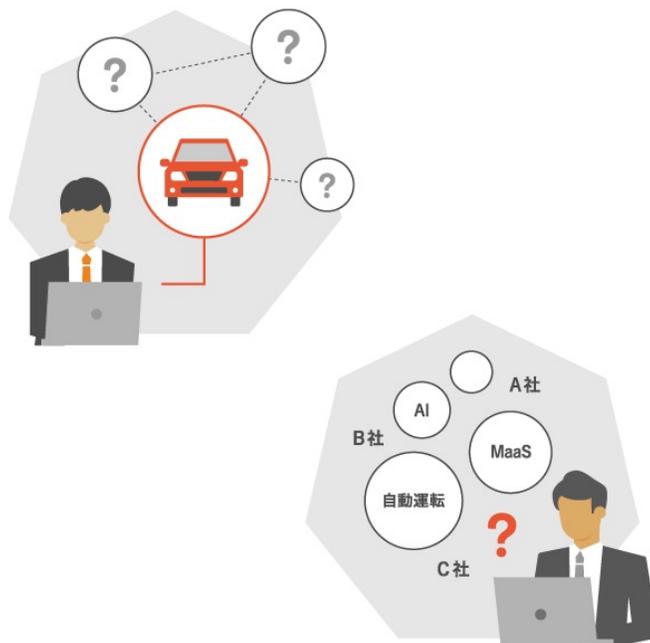
Consensus
Your AI Research Assistant. Search 200M academic papers from Consensus, get science-based...
By Consensus



SellMeThisPen
Create second hand marketplace listings based on pictures. Start by uploading a picture.
By activesolution.se

企業 / オープンイノベーション / M&A

企業/部署ナレッジグラフをマッチングし、最適な協業先やM&A候補を見つける



個人 / 企業×人×人のマッチング

個人ナレッジグラフ/スキル可視化によって企業の採用活動/フリーランスのマッチング等へ

